

<p>種名</p>	<p>マ ガ ン</p> <p><u>Anser albifrons</u></p> 														
<p>分類</p>	<p>ガンカモ目ガンカモ科</p>														
<p>特徴</p>	<p>オ「竿になり鉤になり」の隊列を組んで飛ぶ、太った水鳥。ユーラシアと北米大陸の一部の寒帯で繁殖し、日本には冬鳥として渡来する。日本では毎年 6500～8000 羽位が越冬しているが、その大部分は宮城県伊豆沼に棲息し、他の石川県片野鴨池、佐渡島などに少数が渡来する。渡の時期には、北海道の湖沼でも見られ、1971 年に天然記念物に指定された。</p>														
<p>生活</p>	<p>ガン類は雌雄同色で、カモ類と違ってつがいの結びつきが強く、一方が死ぬまでつがい関係が維持される。越冬地でもつがいと前年に産まれた数羽の幼鳥からなる家族群を単位として行動し、それが集まって大群を作っている。昼間は安全な池や沼で休息し、早朝などに広い水田地帯へ群れで飛来し、地上を歩きながら主に稲の落ち穂、マコモの実などの植物質の餌を食べる。</p>														
<p>声</p>	<p>「クワハハクワハハハ」といった少し甲高い声で飛翔中に良く鳴くが、上空を編隊で飛び時には時々鳴くだけで、飛び立つ時が一番盛んである。またねぐらにする沼では、ほとんど一晩中鳴き声が聞こえる。</p>														
<p>見分け方</p>	<p>くちばしはピンクまたはオレンジ色で、成鳥では基部に白色部がある。脚は橙色である。</p>														
<p>時期</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(月)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </table>	(月)	1	2	3	—	—	—	—	—	—	—	10	11	12
(月)	1	2	3	—	—	—	—	—	—	—	10	11	12		
<p>その他</p>	<p>全長(L)72cm 翼開長(W)138cm</p>														
<p>参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥</p>															